

ランチョンセミナー

最先端フェムテックを活用した 性機能強化治療 2023

2023年 10月1日 日

12:00~12:50

横浜シンポジア 9階 議場
(みなとみらい線日本大通り駅徒歩5分)



座長

医療法人 LEADING GIRLS 女性医療クリニックLUNAグループ 理事長/
横浜市立大学大学院医学部泌尿器病態学講座 客員教授

関口 由紀 先生



日本橋骨盤底診療所 所長

講演1

安倍 弘和 先生

男性・女性へのレーザー治療の経験



医療法人 LEADING GIRLS 女性医療クリニックLUNAネクストステージ院長

講演2

中村 綾子 先生

性機能障害に対するフェムテックを利用した
新たな治療戦略



共催 第42回日本性科学会学術集会 / Fotona Japan株式会社 / TMKメディカル株式会社

本セミナーで紹介の
最新治療情報サイト



2023年10月1日(日) 12:00-12:50 横浜シンポジア 9階 議場

第42回 日本性科学会学術集会 ランチョンセミナー

最先端フェムテックを活用した性機能強化治療 2023

座長 関口 由紀 先生

医療法人 LEADING GIRLS 女性医療クリニックLUNAグループ 理事長

講演1 男性・女性へのレーザー治療の経験

安倍 弘和 先生 (日本橋骨盤底診療所 所長)

【緒言】近年、レーザー治療が泌尿器・婦人科領域疾患に有用との臨床経験が多数報告されるようになり、本邦でも導入施設が増加している。特に女性領域では、GSM(Genitourinary Syndrome of Menopause:閉経関連尿路性器症候群)治療には欠かせない治療の一つと考えられる。当院でも同様にGSM治療を中心に、尿失禁や性交痛などにも治療を行っている。男性への治療例は少ないが、若干の文献的考察を加え発表したい。

【目的】インティマレーザー[®]はEr.レーザーとNd.レーザーの2種類のレーザーを有している。レーザー治療するうえで、それぞれの特徴や目的とする疾患、予想される結果などを認識し使用することが、レーザー治療の効果を最大限に引き出し、レーザー治療の合併症の軽減につながると考える。当院での使用経験を報告する。

【対象】当院でGSM、尿失禁、腔弛緩、性交痛、脱毛、美容医療、EDなどでインティマレーザーによる治療を行った症例を対象とした。症例数はGSMとくに反復性膀胱炎に対する症例が最多で、腹圧性尿失禁が続いた。

【結果】数例の施術時に疼痛のため、照射エネルギーを減弱する必要があった。大きな合併症はなく、レーザー治療後の患者満足度は良いと考えられた。特に反復性膀胱炎の患者は、レーザー治療後、感染を繰り返すことがなくなり満足度の高い治療方法と考えられた。

【考察】他院でレーザー治療を受け、治療後疼痛が強く、治療継続を断念された例も数例認め、腔粘膜の状態を把握しエネルギーレベルを調整する必要があると考えさせられた。また、腹圧性尿失禁症例ではレーザー治療にこだわらず、骨盤底リハビリテーションやスターフォーマー[®]との併用などが有効であった症例もあった。男性EDへの治療効果は経験症例が少なく文献的考察にとどめたい。

【結語】泌尿器婦人科領域においてレーザー治療の発展が期待できる。

ご略歴

| | |
|--|-------------------------------------|
| 1998年 大阪医科大学卒業(現:大阪医科薬科大学) | 1998年 大阪医科大学附属病院 |
| 2000年 大阪医科大学泌尿器科助手 | 2001年 大阪府済生会中津病院 |
| 2003年 静岡済生会総合病院 | 2006年 静岡済生会病院泌尿器科 科長 |
| 2014年 亀田総合病院 泌尿器科 部長 | 2016年 亀田総合病院 泌尿器科 部長・内視鏡下手術センター長 現職 |
| 2023年 日本橋骨盤底診療所 所長、タイムウォーカー [®] インティマレーザー [™] ・スターフォーマー [®] プロを導入 | |

講演2 性機能障害に対するフェムテックを利用した新たな治療戦略

中村 綾子 先生(医療法人 LEADING GIRLS 女性医療クリニックLUNAネクストステージ院長)

女性性機能障害は、性的意欲/興奮障害、オーガズム障害、性交疼痛症に分類される。

原因は、一部の抗精神薬やピル長期服用の影響、ストレス、環境因子、妊娠・出産や閉経によるホルモンバランスの変化など多岐にわたる。治療は、原因薬剤の中止、ホルモン療法(DHEA内服、男性ホルモン補充など)、カウンセリング、理学療法など多岐にわたるが、最近ではフェムテックを利用した新しい治療がはじまっている。フェムテック(Femtech)とはFemaleとTechnologyをかけた造語で女性特有の健康課題をテクノロジーの力で解決するサービスや製品のことであり、医療の分野では腔・外陰部に照射するレーザー、高周波、HIFU(高密度焦点超音波)などの腔デバイスがここ数年、急速に普及してきている。今回、腔デバイスの代表的な機械の1つであるEr:YAG レーザー装置TimeWalker[®] IntimaLaser[™](治療名IntimaLaser[™])を用いた性機能障害の治療について紹介する。

当院を性機能障害で受診される方の主訴は様々であるが、「GSMによる性交時痛」と「妊娠・分娩や加齢からの腔弛緩が原因の性交時の快感低下」が特に多い主訴である。

更年期女性以降の性交疼痛症はGSM(Genitourinary Syndrome of Menopause:閉経関連泌尿生殖器症候群)が原因となることが多い。GSMとは閉経による女性ホルモンの急激な減少が、外陰部の萎縮や粘膜の菲薄化をもたらす外陰部の乾燥や性交時痛をもたらす疾患である。GSM治療は保湿剤、局所/全身ホルモン療法が中心であったが、2016年にEr:YAGレーザーがGSM治療でEU承認を受けて以降(VVA治療承認は2013年)、Er:YAGレーザーによる治療も普及してきており、性交時痛に対しても良好な成績が報告されている。またEr:YAGレーザーは腔弛緩に対しても適用があり、腔弛緩から性交時にオーガズムをえられない、パートナーに腔のゆるみを指摘され性行為に自信がもてないなどの悩みを訴える患者に使用し、良好な成績をえている。

今回、Er:YAG レーザー装置TimeWalker[®] IntimaLaser[™](治療名IntimaLaser[™])を用いて性機能障害を治療した症例を提示し、フェムテックを利用した性機能障害の治療について考察する。

ご略歴

| | |
|---|---------------------------------|
| 2007年 横浜市立大学医学部卒業、日本赤十字社医療センター臨床研修医 | |
| 2009年 横浜市立大学泌尿器病態学に入局、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院、藤沢市民病院、横浜保土ヶ谷中央病院勤務 | |
| 2014年 女性医療クリニックLUNAネクストステージにて泌尿器科外来を担当 | 2017年 女性医療クリニックLUNAネクストステージ院長就任 |
| 2022年 最新モデルタイムウォーカー [®] インティマレーザー [™] を導入 | |